



Real-Time Integration

Business Insight 12.2.1.1.0

クイック・スタート・ガイド

2016年7月

バージョン3.0

目次

Oracle Real-Time Integration Business Insightの概要.....	3
このドキュメントについて.....	3
事前構築済み仮想マシン.....	4
Oracle SOA Suite 12.2.1.1.0とOracle Real-Time Integration Business Insightのインストール . 5	
Oracle SOA Suite 12.2.1.1.0 QuickStartのインストール.....	5
パッチ23558099のダウンロードと適用.....	6
Insightドメインの構成.....	6
Insightが含まれるコンパクトなOracle SOA Suite 12.2.1.1.0ドメイン.....	6
Repository Creation Utilityによる必須スキーマのインストール.....	6
コンパクト・ドメインの構成.....	6
Insightサーバーの起動.....	7
重要なログ・ファイル.....	8
Insightデモ・ユーザーの設定.....	8
AstraTeqヘルプ・デスク・チュートリアル.....	11

Oracle Real-Time Integration Business Insightの概要

Oracle Real-Time Integration Business Insight（単にInsight）は、ビジネス・レベルのメトリックをモデル化、収集および監視するユーザーのために設計されています。この製品は、Oracle SOA SuiteおよびOracle Service Busに完全に統合されています。

Oracle Real-Time Integration Business Insightによりビジネス所有者は、日々の情報に基づいた決定を下すために必要なメトリックの内容、タイミング、およびフォーマットを管理できます。関係者は、ビジネス統合内での主要な点を識別するだけで、詳細で実用的なデータにリアルタイムで即座にアクセスすることができます。コストのかかるエンジニアリングの関与や製品の再デプロイメントの必要はありません。

詳しくは、[Oracle Real-Time Integration Business Insightの製品ページ](#)を参照してください。

このドキュメントについて

このドキュメントでは、Oracle Real-Time Integration Business Insight 12.2.1.1.0の開発環境をインストールおよびセットアップする方法について説明します。結果として、**コンパクト・ドメイン**、つまり1つの管理サーバーで構成され、管理対象サーバーを含まない開発者ドメインが構築されます。

製品環境のセットアップ方法に関する指示については、[Installing and Configuring Oracle SOA Suite and Business Process Management](#)および[Installing and Configuring Oracle Service Bus](#)を参照してください。

ドキュメント[Oracle® Fusion Middleware Installing SOA Suite and Business Process Management Suite Quick Start for Developers](#)では、**SOA Suite**開発環境のセットアップについて説明されています。以下のセクションでは、Insightサーバー、SOAエージェント、およびService Bus Insightエージェントを追加するために必要な追加のステップについて説明されています。

インストールを開始する前に、[Known Issues for Oracle Real-Time Integration Business Insight](#)の情報もお読みください。

事前構築済み仮想マシン

Oracle Technology Networkの[SOA Suite 12.2.1.1.0向けの事前構築仮想マシン](#)には、評価またはテストのためのReal-Time Integration Business Insightが含まれます。

VirtualBoxイメージをダウンロードおよびインポートする際の詳細な手順については、[概要およびReadmeドキュメント](#)をダウンロードしてください。

このイメージは、いくつかの他のドメインと一緒に、Insightのコンパクト・ドメインを使用して事前構成されています。

[AstraTegヘルプ・デスク・チュートリアル](#)を開始する前に、[Real-Time Integration Business Insight Tutorial setup for VirtualBoximage](#)で概要が述べられている手順を実行してください。

Oracle SOA Suite 12.2.1.1.0 と Oracle Real-Time Integration Business Insightのインストール

ラップトップにInsightをインストールし、コンパクト・ドメインを構成する場合は、以下の手順を実行します。

Oracle SOA Suite 12.2.1.1.0 QuickStartのインストール

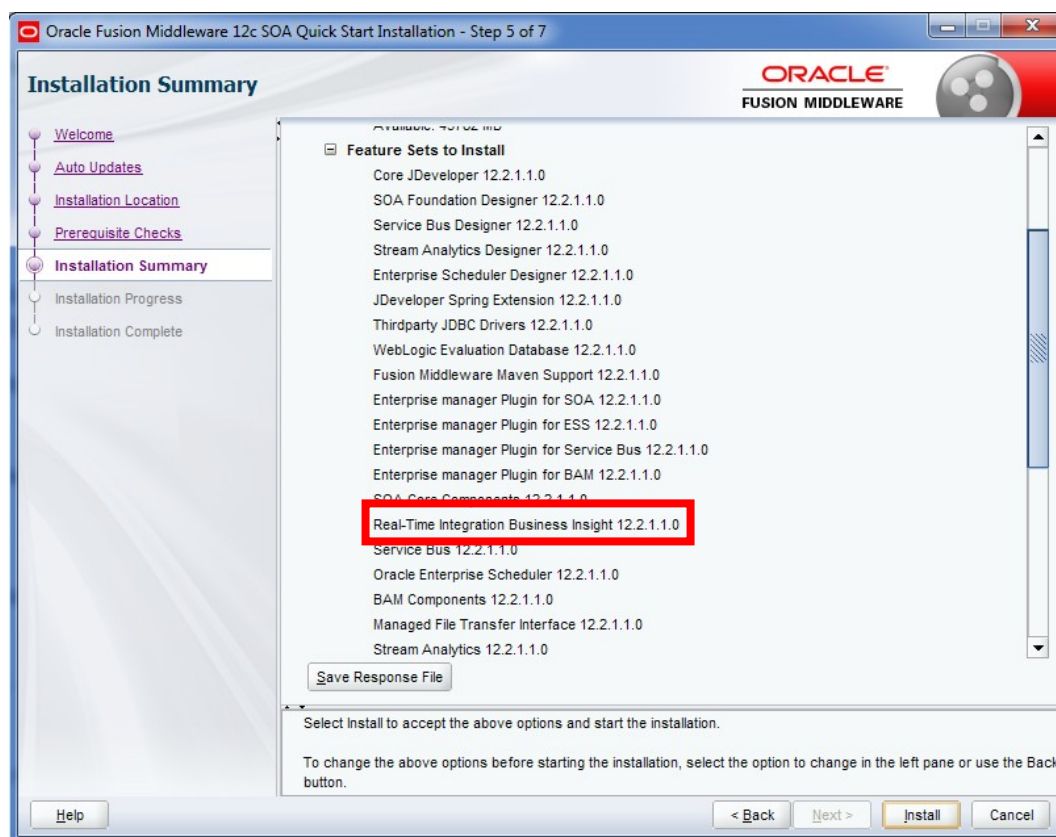
開始する前に、「[Verifying Certification, System Requirements, and Interoperability](#)」の内容を慎重にお読みください。

このリリース以降、InsightはOracle SOA Suite Quick StartインストーラとProductionインストーラに組み込まれます。

インストールを開始する前に、「[Part I Preparing to Install Quick Start](#)」での詳しい説明を必ずお読みください。

「[Oracle SOA Suite Quick Start for Developersのインストール](#)」にある手順を実行して、Insightを含むOracle SOA Suite 12.2.1.1.0をインストールします。

手順5には、インストールする機能セットの一覧が示されています。これには、Real-Time Integration Business Insight 12.2.1.1.0が含まれます。



インストールを終了する前に、「Start Jdeveloper」を忘れずに選択解除してください。

パッチ23558099のダウンロードと適用

[MyOracleSupport](#)からパッチ23558099をダウンロードし、パッチのreadmeにある手順に従ってインストールしたInsightにパッチを適用します。

このパッチにより、InsightのマイルストーンからOracle Service Busのコンポーネントへのマッピングに関する問題が修正されます。

Insightドメインの構成

このセクションでは、Oracle SOA Suite 12.2.1.1.0およびInsightによるコンパクト・ドメインの構成について説明します。

Insightが含まれるコンパクトなOracle SOA Suite 12.2.1.1.0ドメイン

上記のとおり、コンパクト・ドメインは管理サーバーのみのセットアップであり、soa-infra、Service BusおよびOracle Business Activity Monitoring (Oracle BAM) のようなOracle SOAのコンポーネントすべてが1つのサーバーにデプロイされます。これは、Java DBの代わりにOracle DBを使用し、JDeveloperによって制御されることのないWebLogic統合サーバーの場合とは異なります。

Insightの場合は、Insightサーバー、SOAエージェントおよびOracle Service Busエージェントが含まれるSOAドメイン (Oracle Service Busを含む) を作成します。

次のリンク先「[Configuring a Compact Domain for Oracle SOA Suite](#)」では、SOAコンパクト・ドメインのセットアップについて説明されています。

Repository Creation Utilityによる必須スキーマのインストール

Insightで必要とされるすべてのDBスクリプトはすでにSOA Suiteのセットアップに組み込まれているため、ここでは何も変更する必要はありません。「[5.3 Installing Required Schemas](#)」で概要が述べられている手順を実行します。

コンパクト・ドメインの構成

1つの点を除いて、「[5.4 Configuring a Compact Domain](#)」で概要が述べられている手順を実行します。

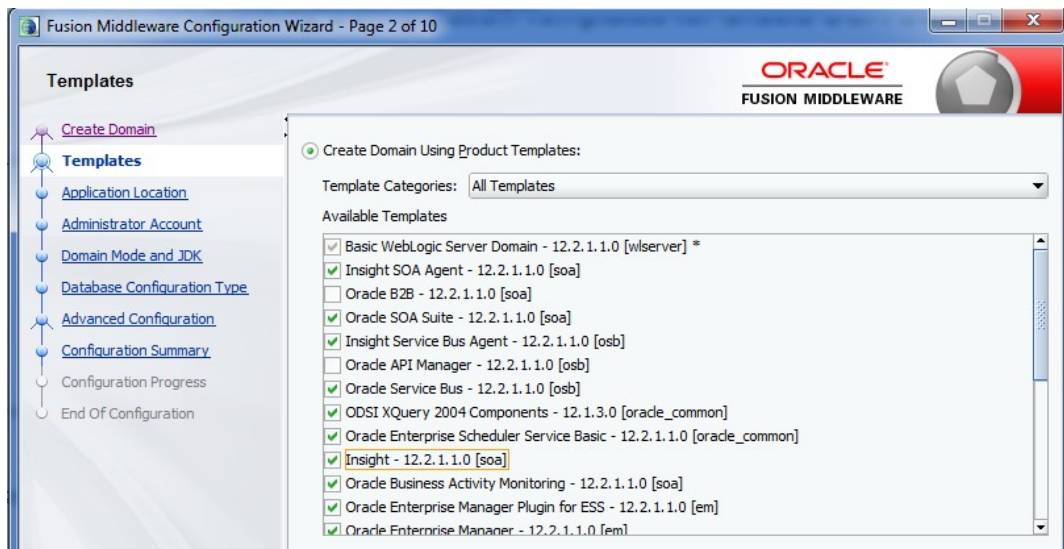
すなわち、セクション「[5.4.3 Selecting Configuration Templates for Oracle SOA Suite Quick Start](#)」でテンプレートを選択する場合には、Insightサーバー、SOAエージェントおよびService Busエージェントに必要なテンプレートを追加します。

セクション「[5.4.3 Selecting Configuration Templates for Oracle SOA Suite Quick Start](#)」で説明されているテンプレートに加えて、次のテンプレートを選択します。

- Insight SOA Agent 12.2.1.1.0 [soa]
- Insight Service Bus Agent 12.2.1.1.0 [osb]
- Insight 12.2.1.1.0 [soa]

依存関係にある他のすべてのテンプレートは自動的に選択されます。

画面は次のようになります。



その他のすべての手順に変更はありません。

Insightサーバーの起動

構成ウィザードでの設定が完了したら、コンパクト・ドメインのホームに移動し、次のコマンドを使用して管理者サーバーを起動します。

UNIX:

```
cd $DOMAIN_HOME/bin
./startWebLogic.sh
```

Windows:

```
cd %DOMAIN_HOME%\bin
startWebLogic.cmd
```

管理者サーバーが稼働していることは、次の出力によって確認できます。

```
Server state changed to RUNNING.
```

重要なログ・ファイル

不明な問題が発生した場合は、次のログ・ファイルを参照してください。

`$DOMAIN_HOME/servers/AdminServer/logs/`

- `AdminServer.log`
- `AdminServer-diagnostic.log`
- `AdminServer-insight-diagnostic.log`

Insightデモ・ユーザーの設定

Insightにはさまざまなユーザー・ペルソナがあります。各ユーザーにはロールのセットが定義されており、ユーザーがアクセスできるアプリケーションの領域は、ユーザーのロールに付与されている権限に応じて異なります。

デモおよびチュートリアル用として次のユーザーが作成されます。Insight内で使用されるペルソナの説明については、「[ユーザー・ペルソナ](#)」を参照してください。

- **Susan - モデル作成者**：モデルを作成する人です。通常のコマンドラインで、Susanはモデル権限を他のユーザーに割り当てます。簡単に説明するため、チュートリアルのこの手順は省略します。
- **Nina - ビジネス・ユーザー**：ビジネス・ユーザーは、ビジネス・ユースケースについて実際的な知識を持っており、実装とは無関係のビジネス用語を使用してマイルストーンとインジケータを作成します。
- **Karl - 統合アーキテクト**：統合アーキテクトはアプリケーションの実装について理解しています。統合アーキテクトは、マイルストーンから実装内の適切な場所およびインジケータの抽出へのマッピングを定義します。
- **John - ビジネス所有者**：ビジネス所有者は、コンソールで提供されるリアルタイム・ビジネス・データに対するアクセス権限を持っており、データの表示方法を最適化したカスタム・ダッシュボードを定義します。
- **Emily - 管理者**：管理者は、Insightアプリケーション自体を管理し、実装への接続を作成してモデルのマッピングを有効にします。

また、NinaとKarlにビジネス所有者の権限も付与し、二人が作成しているモデルのコンソールをテストできるようにします。二人は、本番システムではそれらの権限を持っていません。

上記のユーザーを設定するためには、次の手順を実行します。

- [OTN Insightチュートリアル・ページ](#)から**InsightDemoUserCreation.zip**をダウンロードし、任意のフォルダに解凍する
- 上のフォルダでターミナル・ウィンドウを開く
- `cd bin`
- **insight.properties**を編集し、作業環境が反映されるようにプロパティを変更する

- Windows上で作業している場合は、**build.xml**を**build_unix.xml**に、および**build_win.xml**を**build.xml**に変更する
- 次の環境変数を設定する（システムに基づき、必要に応じて構文を変更する）
- UNIX
 - setenv MW_HOME= <Middleware HOME of the environment>
 - setenv JAVA_HOME= <Location of JAVA HOME>
 - setenv ANT_HOME=\$MW_HOME/oracle_common/modules/org.apache.ant_1.9.2
 - setenv PATH=\$JAVA_HOME/bin:\$ANT_HOME/bin:\$PATH
- Windows
 - set MW_HOME=<Middleware HOME of the environment>
 - set JAVA_HOME=<Location of JAVA HOME >
 - set ANT_HOME=%MW_HOME%\oracle_common\modules\org.apache.ant_1.9.2
 - set PATH=%JAVA_HOME%\bin;%ANT_HOME%\bin;%PATH%
- ant createInsightDemoUsersを実行する

ユーザーごとに、次のような出力が表示されます。

```
createUserAndAssign:
  [mkdir] Created dir: /scratch/sgeib/InsightDemoSeeding/procmon-
  fod/user/InsightAdministrator
[echo] Creating :InsightAdministrator:InsightAdmin
  [copy] Copying 1 file to /scratch/sgeib/InsightDemoSeeding/procmon-
  fod/user/InsightAdministrator
  [exec]
  [exec] Initializing WebLogic Scripting Tool (WLST) ...
  [exec]
  [exec] Welcome to WebLogic Server Administration Scripting Shell
  [exec]
  [exec] Type help() for help on available commands
  [exec]
  [exec] Connecting to t3://localhost:7001 with userid weblogic ...
  [exec] Successfully connected to Admin Server "AdminServer" that belongs to domain
  "insight_domain".
  [exec]
  [exec] Warning:An insecure protocol was used to connect to the server.
  [exec] To ensure on-the-wire security, the SSL port or Admin port should be used instead.
  [exec]
  [exec] Already in Config Runtime
  [exec]
  [exec] lookup DefaultAuthenticator
  [exec] create user InsightAdministrator
```

```
[exec]
[exec]
[exec] Exiting WebLogic Scripting Tool.
[exec]
```

aassignRoleToUser:

```
[mkdir] Created dir: /scratch/sgeib/InsightDemoSeeding/procmon-
fod/user/InsightAdministrator/InsightAdmin
[copy] Copying 1 file to /scratch/sgeib/InsightDemoSeeding/procmon-
fod/user/InsightAdministrator/InsightAdmin
[exec]
[exec] Initializing WebLogic Scripting Tool (WLST) ...
[exec]
[exec] Welcome to WebLogic Server Administration Scripting Shell
[exec]
[exec] Type help() for help on available commands
[exec]
[exec] Connecting to t3://localhost:7001 with userid weblogic ...
[exec] Successfully connected to Admin Server "AdminServer" that belongs to domain
"insight_domain".
[exec]
[exec] Warning:An insecure protocol was used to connect to the server.
[exec] To ensure on-the-wire security, the SSL port or Admin port should be used instead.
[exec]
[exec] grant app role InsightAdministrator with InsightAdmin for appStripe insight
[exec] Location changed to domainRuntime tree.This is a read-only tree
[exec] with DomainMBean as the root MBean.
[exec] For more help, use help('domainRuntime')
[exec]
[exec]
[exec]
[exec] Exiting WebLogic Scripting Tool.
[exec]
```

AstraTeqヘルプ・デスク・チュートリアル

AstraTeqヘルプ・デスク・チュートリアルでは、Insightモデルの作成方法、および事前構成済みダッシュボードの解析方法とカスタム・ダッシュボードの作成方法が順を追って説明されています。

[AstraTeqヘルプ・デスク・チュートリアル](#)を開始する前に、[Insightチュートリアル・ページ](#)から**Help Desk Tutorial resources zipファイル**をダウンロードし、[Real-Time Integration Business Insight Tutorial setup for native install](#)で概要が述べられている手順を完了してください。